

大阪狭山市下水道事業経営審議会（第8回） 議事録

会議名称	大阪狭山市下水道事業経営審議会（第8回）
開催日時	令和6年3月12日（火）13:30～15:30
開催場所	大阪狭山市役所3階 協議会室
出席委員	【会長】佐藤 雅代委員 山村 歳幸委員 北 眞佐子委員 北舎 和彦委員 奥田 善朗委員
欠席委員	【副会長】粟田 貴宣委員
傍聴者人数	0人
事務局	水資源部長、経営総務グループ課長、下水道工務グループ課長、経営総務グループ主査、経営総務グループ主事
主な議事	1. 大阪狭山市下水道事業経営戦略案について 2. 大阪狭山市下水道事業経営審議会答申案について
配布資料	資料1 大阪狭山市下水道事業経営審議会（第8回） 資料2 パブリックコメントで提出されたご意見（要旨）及び市の考え方について 資料3 大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案） 資料4 大阪狭山市下水道事業 経営戦略【概要版】（案） 資料5 大阪狭山市下水道事業経営審議会答申（案）

議事経過	<p>1. 大阪狭山市下水道事業経営戦略案について</p>
【会長】	<p>今回の経営審議会は、議事次第のとおり経営戦略案について及び諮問に対する答申についてです。次回、6月に予定されている経営審議会が最後となりますので、実質的な審議は今回の経営審議会が最後になるかと思えます。</p> <p>1月に開催した経営審議会では、能登半島地震の発生をうけて災害に対する問題意識を強く持った会でした。また、本日の議題である答申案の中で災害対応に言及されていますし、災害を意識したパブリックコメントもありました。</p> <p>そこで、能登半島地震に関するその後の復旧状況等を委員からお話いただきたいと思えます。</p>
【委員】	<p>能登半島地震の発生からおよそ2ヶ月半が経過しました。下水道に関しては、能登8市町で処理場とポンプ場の下水施設がおよそ35施設ありますが、これらの施設は3月8日の時点で機能が確保されています。従いまして下水道管を通じて汚水が正常に流れてくれば下水道処理施設で処理できる状態になっています。しかし、下水道管自体が地震により破損しているため汚水が正常に流れてこない状況にあり、下水道管の2次調査を行っている状況です。2次調査を行い、災害査定を行い、そこから本格的な復旧に向けて動いていくものと思われま</p> <p>す。市民の暮らしを最優先にいち早く復旧に向けて動いていくことが重要です。そのような中で各自治体が現場に支援に行かれている状況ですが、各自治体にとっても支援の現場を経験し、その経験を今後活かすことも重要です。</p>
【会長】	<p>最近では報道が少なくなってきた中で貴重なお話ありがとうございました。委員のお話にもあったとおり、処理施設に関しては比較的早く復旧できるのかもしれませんが、下水道管の復旧には時間がかかりますので、復旧が速くなる工法というものについても検討が必要なのかもしれません。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p>
【委員】	<p>石川県の下水の普及率はどの程度でしょうか。</p>
【事務局】	<p>83%程度かと思えます。</p>

【委員】	<p>珠洲市は下水のバイオマスを利用して発生する汚泥を処理する先駆的な方法を取り入れています。</p>
【委員】	<p>災害が発生した場合、汲み取りの地域はバキュームカーによる処理になるのでしょうか。</p>
【会長】	<p>普段、合併浄化槽を含め、汲み取りをしている地域にはバキュームカーがあります。一方、下水道管が通っている地域ではバキュームカーを保有しておらず、下水道管が詰まってしまった場合、その後の処理が大変になることもあります。</p> <p>大阪狭山市は、今回現地支援等を行われているのでしょうか。</p>
【事務局】	<p>大阪府から中長期の期間で技術職員の派遣依頼がありましたが、当市は技術職員が1名しかいないため、今回の派遣は見送っております。</p>
【会長】	<p>承知しました。</p> <p>将来災害が発生した場合に市民の皆様の不便を減らすためには、経営の安定と計画的な施設の更新が必要ということを確認した上で、本日の議事に入って参りたいと思います。</p> <p>議事1の「大阪狭山市下水道事業経営戦略案について」を事務局から説明をお願いします。</p> <p>○事務局が資料1(資料 8ページまでの「大阪狭山市下水道事業経営戦略案の修正について」まで)について説明</p> <p>○資料1(資料 8ページまで)に関する質疑応答</p>
【事務局】	<p>補足いたします。</p> <p>先ほど担当から、資料1の6ページで投資・財政シミュレーションの令和6年度の数値を令和6年度予算値に置き換え、投資・財政シミュレーションの精緻化を図ったとお伝えしました。</p> <p>令和6年度予算は、本日の経営審議会の時点では3月議会に上程中の段階で確定しておりません。ここでいう予算は、あくまでも予算案ということで、ご了承いただけますと幸いです。</p>

【会長】	経営戦略が公表されるのはいつでしょうか。
【事務局】	3月末を予定しております。議会は3月26日に終了しますので、経営戦略が公表されるまでには令和6年度予算は確定しております。
【会長】	投資・財政シミュレーションの精緻化を図った結果、資料1の7ページでは当期純利益が、8ページでは現預金残高がそれぞれ上振れています。その理由についてご説明いただけませんかでしょうか。
【事務局】	当初の想定より一般会計からの繰入額が多かったことにより当期純利益が上振れしております。また、当初想定しておりませんでしたマンション建築により、整備負担金額が増加したこと及び当初の想定より建設投資にかかる支出額を低減できたこと等により現預金残高が上振れています。
【会長】	<p>経営努力により安く契約が締結出来たことや、効率的な事業運営ができたことにより、現預金残高が当初想定よりも上回ったのであればプラス評価できる部分です。</p> <p>マンション建築により整備負担金額が当初想定より増加したということですが、今後、大規模開発が行われる見込みはまだあるのでしょうか。</p>
【事務局】	あと1ヶ所程度でそれほど多くは見込まれません。
【会長】	<p>整備負担金が今後大きく発生するということは想定されないということですね。また、原材料費や人件費の高騰で、建設投資にかかる支出額の引き下げはそもそも難しいと思いますので今回のような現預金残高の上振れは、今後難しいということはしっかり分析していく必要があると思います。</p> <p>委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>経営戦略案の方向性については、1月の経営審議会の時のものと大きく変わってはおりませんが、大幅な追記や修正がないのであれば経営審議会としても了承という判断をするかどうかを皆さんにお諮りしようと思います。何かありましたら、ご質問あるいはご意見いただけますでしょうか。</p>

【委員】	資料3の大阪狭山市下水道事業 経営戦略(案)の32ページの令和15年度末の現預金残高が5億円となっています。1月の経営審議会のときの資料では令和15年度の現預金残高は13億程度になっていたと記憶しております。いつの時点で変更になったのでしょうか。
【事務局】	2月の書面決議の際に変更となっておりますが、詳細なご説明ができておらず大変失礼いたしました。 下水道事業の独立採算の原則に立ち返り、使用料改定により使用料の増額に対応する部分は、一般会計からの基準外繰入金を減額させる形で投資・財政シミュレーションを再実施した結果、現預金残高が減少しております。
【会長】	一般会計からの基準外繰入金はどの程度減少するシミュレーションになっているのでしょうか。
【事務局】	資料3の大阪狭山市下水道事業 経営戦略(案)の32ページの下図にありますとおり、令和7年度から令和15年度の累計で、8.7億円程度減少する試算となっています。
【会長】	下水道事業の独立採算の原則を意識し、現状の投資・財政シミュレーションの精緻化を図ったということです。他にいかがでしょうか。
【委員】	資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略(案)の36ページ(2)業務目標達成に向けた取組みの文字を大きくした方が良いと思います。また21ページの経費回収率100%と36ページの経費回収率80%の関係がわかるよう修正された方がよいと思います。
【事務局】	対応を検討するようにいたします。
【会長】	他にいかがでしょうか。
【委員】	資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略(案)の20ページの下水道処理人口普及率と下水道接続率の違いは何でしょうか。
【事務局】	各家庭の前まで下水道管が通っている状態が下水道処理人口普及率となります。一方、各家庭の前まで下水道管が通っており各家庭で下水

	<p>道管に接続している状態が下水道接続率となります。下水道管に接続するには、配管や、場合によってはお手洗い自体を取換えるといった個人負担が発生しますので、下水道接続率が下水道処理人口普及率より低くなっております。</p>
【会長】	<p>他いかがでしょうか。</p>
【委員】	<p>下水道事業の独立採算というのは理解しておりますが、もし自治体に余裕があり一般会計から繰入金が増え入ってくるなら現状の料金水準でも、下水道事業を維持できるのではないかと思います。自治体ごとに、一般会計からの繰入金の水準に格差が生まれるのは仕方がないことなのではないでしょうか。</p>
【事務局】	<p>大阪府内の自治体ごとに下水道使用料が違いうように、現実的に各自治体で格差はございます。下水の場合は人口密度が高いところほど、下水道使用料は低く抑えることができる傾向にあります。</p> <p>ただし、一般会計が増え入っている自治体であっても下水道事業の独立採算の原則から使用者が負担しなければならない部分については、国からの指導もありしっかり料金を徴収する必要があります。</p>
【委員】	<p>一般会計からの繰入金において優先的に繰出される事業といった繰入金の優先順位はあるのでしょうか。</p>
【事務局】	<p>市の政策によって優先順位はあります。当市では、福祉、教育への優先順位が高く、下水道事業への優先順位は高くないものと考えます。</p> <p>しかし、当市の下水道事業の経営の状況及び能登半島地震の発生によりライフラインである下水道への注目が高まっていることもあり潮目が変わる可能性もあるのではないかと思います。</p>
【会長】	<p>資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案）の11ページに使用料水準のグラフがありますが、大阪狭山市の下水道使用料はまだ低い水準にあります。</p> <p>一般会計からの繰入金において下水道事業の優先順位が低いのは事実としてやむを得ないことですし、使用料を適切に徴収しなければ下水道事業が立ちゆかなくなりますので適切な使用料を徴収しなければならないことも事実です。</p>

	<p>他いかがでしょうか。</p>
【委員】	<p>資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案）の24ページにおいて現預金残高が、令和4年度の3.2億円から令和5年度に4.0億円と増加している要因についてご説明ください。</p>
【事務局】	<p>マンション建築により、整備負担金額を受領することが主要因で、資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案）の27ページの令和5年度の資本的収入の9. その他の欄に0.9億円計上されているものが該当します。</p>
【委員】	<p>資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案）の23ページにおいて当期純利益が、令和5年度の0.1億円から令和6年度に0.2億円と良化している要因についてご説明ください。</p>
【事務局】	<p>令和5年度から令和6年度にかけて当期純利益が良化している主要因は、一般会計からの繰入金が増加したことが主要因となります。資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案）の26ページの収益的収入の（1）補助金の他会計補助金の金額が、令和5年度は1.5億円であるのに対して、令和6年度が1.8億円と増えています。</p> <p>ただし、今後一般会計からの繰入金が増え入ってくると想定することは困難であり、投資・財政シミュレーション上、令和7年度以降の他会計補助金の金額は大きく減少するシミュレーションとしております。</p> <p>また、使用料改定を見据えた場合、使用料改定により料金収入が増加します。料金収入が増加する分、一般会計からの出資金が減少することを想定しています。そちらは、資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案）の27ページ及び34ページの資本的収入の他会計出資金の金額を見比べていただくことで確認できるかと思えます。</p> <p>資料3大阪狭山市下水道事業 経営戦略（案）の27ページは現行の使用料水準による投資・財政シミュレーションであり、34ページは使用料を改定した場合の投資・財政シミュレーションとなっております。見比べていただくと、令和7年度から令和15年度の累計で他会計出資金の金額が9億円程度減少するシミュレーションとなっております。</p>

<p>【会長】</p>	<p>使用料改定により料金収入が増加する分は一般会計からの出資金が減少するということですが、現行の使用料水準による投資・財政シミュレーションか使用料改定した場合の投資・財政シミュレーションかわかるよう付記する方が良いかと思えます。</p> <p>パブリックコメントでも経営戦略案についてご意見いただいているかと思えます。事務局からパブリックコメントでいただいたご意見を紹介していただけますでしょうか。</p> <p>○事務局が資料2(パブリックコメントで提出されたご意見(要旨)及び市の考え方について)について説明</p> <p>○資料2(パブリックコメントで提出されたご意見(要旨)及び市の考え方について)に関する質疑応答</p>
<p>【会長】</p>	<p>2名の方からご意見をお寄せいただいておりますので、いただいたパブリックコメントに対して、適切に対応していくことは重要な情報発信になるかと思えます。パブリックコメントに対する市の考え方、ご回答は、もう公表されたのでしょうか。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>これから公表予定でございます。</p>
<p>【会長】</p>	<p>パブリックコメントに対する市の考え方について、修正が可能という状況なので申し上げます。</p> <p>資料2のNo.1の震災時の対応についてというパブリックコメントに対する市の考え方ですが、大阪狭山市として行っている様々な計画を記載したうえで、経営戦略における記載箇所而言及することがあるべき対応と考えます。</p> <p>また、No.3の下水道事業の財源についてというパブリックコメントに対する市の考え方ですが、最後の記載箇所『今後も国の交付要件等を随時確認し、活用していきたいと考えています』という部分はもう少し具体的に記載する必要があると考えます。社会資本整備総合交付金の重点配分対象になる要件やその要件をクリアするための取り組みを経営戦略に基づき進めていくということを記載する方がよいかと考えます。</p> <p>パブリックコメントに対する市の対応、回答及び経営戦略について認めるかの判断を出したいと思えますがご意見いかがでしょうか。</p>

【委員】	一般の我々市民からすると、下水道事業になぜ公費が投入されないのか、なぜ独立採算制をとらないといけないのかわかりにくいです。
【会長】	下水道を使った方が使った分だけ払いましようというルールのもとで、大阪狭山市だけが独立採算制を辞められるものではなく、国を動かさなければいけない話になります。ただ、雨水の処理に関しては全額公費が投入されております。公費に関しても市民の皆様が払うものとなりますから、公費を投入するとなると住民税や所得税が上がるということに結びつきます。
【委員】	道路が税金で整備されているように、下水も受益者負担ではなく道路と同じ仕組みにならないのかと思います。
【委員】	上水については下水より早く受益者負担の考え方が取り入れられています。下水道自体が国ではなくて各自治体の固有事務になっており、下水道をやるかやらないかも自治体の判断となります。自治体の判断である以上、税金だけではなく受益者負担が必要となります。
【会長】	全額税金が投入されると経営を考える必要がなくなります。受益者負担をとり入れることで経営が効率的になる側面もあります。
【委員】	下水にはそれなりの補助金が入っているという現状があり、今後は補助が少なくなる可能性が高いので、今、経営戦略としてしっかり検討していく必要があります。
【委員】	市民に丁寧に説明していかないと、納得しないと思います。
【会長】	市民の皆さんにきっちり説明して、理解していただく積み重ねが必要ですので情報発信に力をいれていく必要があります。問題提起をいただきましたが、他、大丈夫でしょうか。 それでは、経営戦略及びパブリックコメントの回答について大きな方向転換はなく、説明の追加や軽微な検討をし直すという形で修正に関しては、会長預かりでお認めいただいでよろしいですか。
【委員一同】	同意します。

【会長】	スケジュールの関係で事後報告になると思います。公表前に皆様にお目通しいただく形で進めさせていただきます。事務局もそれでよろしいでしょうか。
【事務局】	問題ございません。
【会長】	では、経営戦略案については、一部修正はあるものの概ね了承となります。パブリックコメントの回答に関しては、ホームページで公表されるのでしょうか。
【事務局】	はい。
【会長】	パブリックコメントに対する回答の公表は経営戦略の公表より前でしょうか後でしょうか。
【事務局】	経営戦略の公表より前のタイミングで、パブリックコメントに対する回答は公表予定です。
【会長】	わかりました。 それでは続きまして、2つ目の議事である答申案についてです。 市長から我々の経営審議会に諮問をいただきまして、それに対する答申を出す予定です。答申案について事務局と作って参りましたので、議事 2 の「大阪狭山市下水道事業経営審議会答申案について」を事務局から説明をお願いします。
議事経過	<p>2. 大阪狭山市下水道事業経営審議会答申案について</p> <p>○事務局が資料 1 (資料 13 ページまでの「大阪狭山市下水道事業経営審議会答申について」まで) について説明</p> <p>○資料 1 (資料 13 ページまで) に関する質疑応答</p>
【会長】	追記や修正は可能ですのでご意見をいただければと思いますが、私から少し説明させてください。 資料 5 の大阪狭山市下水道事業経営審議会答申 (案) の 1 ページ目に

はじめにというところがありますけれども、経営審議会に対する諮問というのが『持続可能な大阪狭山市公共下水道事業の運営及び経営状況について』ということでしたので、経営の厳しさや事業の苦勞について学び審議して参りました。

答申案について、一言で申し上げるなら、中段ですが、『経営戦略は、これまでの審議結果を踏まえた内容になっていることから、経営戦略を適当と認めます』と書いております。その上でただし書きの下から3行目辺りですが、下水道事業を取り巻く環境は一層厳しいものになることが予想されるため、持続的・安定的な下水道事業サービスの提供を実現していただきますと注文をつける形になっております。

先ほど事務局から概要として説明された2ページの経営状況と課題は、今までの審議の振り返りと思っていただいたら結構ですし、3ページから5ページまでの経営改善に向けた取り組みについての部分は経営戦略の中に入れ込まれていることを説明しております。答申案だけを読んでもある程度はわかる形にはなっているため、文字数が多くなっている点についてはご了承ください。ここまでについては経営戦略の中身だと思ってください。

そして、6ページから8ページまでの3. 下水道使用料の改定についての部分は、経営戦略の中ではほとんど触れられていない部分になりますし、当審議会でも多く議論はできておりませんが、答申案としては、総括の部分で下水道使用料の改定について検討が必要ですよという書きぶりにしております。

使用料の引き上げが必要とは書かずに改定が必要な状況ですよということを示唆した上で、6ページの(1)の最後の行で下水道を利用される市民等へ丁寧な説明をしてくださいと書いています。

つまり、経営は厳しい状況にあるため、使用料の改定が必要な状況ということを端的に記載しております。

そこで、使用料の改定を考えるときに検討しなければならないポイントについて(2)使用料体系のあり方でのところで、下水道使用料体系について検討・研究を進めて欲しいということに記載しております。

その中でも①基本水量のあり方、②水量区分のあり方、③基本料金と超過料金のバランスのあり方、④逡増度のあり方といった点について、答申案に記載の方向ですべて検討してくださいという示唆に留めている状況です。その上で使用料改定が引き上げであったとしても、

	<p>引き下げであったとしても、下水道利用者、市民の皆様にはしっかりと説明してください、という形になっております。</p> <p>8ページの4. 付帯意見の部分では加えたい点や忘れていた議論がありました加えることができる部分であります。</p> <p>答申案について、一言で申し上げますと、様々努力はしてはいますが経営が厳しいので料金改定について検討が必要ですよというところです。皆様のご意見いかがでしょうか。</p>
【委員】	<p>6ページ(1)下水道使用料水準の1段落目の最後に約10億円収支不足額が生じる見込みであるとありますが、10億円という数字は経営戦略に出てきておりますでしょうか。</p> <p>10億円という数字は経営戦略のどの部分で言及されておりますでしょうか。</p>
【事務局】	<p>経営戦略ではなく、第5回の経営審議会資料から引用しております。</p>
【委員】	<p>答申と経営戦略がリンクするよう経営戦略のどこかに、10億円の数字がある方がいいかと思えます。</p>
【会長】	<p>投資・財政試算の冒頭にもってくる形で、資料1大阪狭山市下水道事業経営審議会の21ページの部分で経費回収率が100%下回っていることと併せて収支不足額に関する情報について言及する形はいかがでしょう。</p> <p>いずれにせよ、答申に記載されている収支不足額の10億円が経営戦略のどこかで言及される形が良いかと思えます。</p>
【事務局】	<p>対応を検討いたします。</p>
【会長】	<p>他いかがでしょうか。</p>
【委員】	<p>はじめにの後ろから2行目に、『次に記載の事項について』とありますが、次に記載の事項というのは、次のページ以降に記載の項目全てということですね。</p>
【会長】	<p>ご認識のとおりです。</p>

【委員】	3ページ①震災時にも下水道機能が維持できる対策の第2段落目に『汚水幹線の耐震化を計画的に進めている』とありますが、耐震化を進めているのは汚水幹線だけなのでしょうか。
【事務局】	重要な幹線や緊急避難路等の道路が寸断されてはならないところに雨水管が入っておりそれらも耐震化を行っておりますので、汚水幹線だけに限りません。
【委員】	ではこの部分は下水道総合地震対策にあるような形で書きぶりを検討されてはいかがでしょうか。
【事務局】	避難路に繋がる重要な路線等、書きぶりについて対応を検討いたします。
【委員】	あと、8ページの4. 付帯意見の最初の部分で、局地的大雨による被害、例えば家屋や市街地の浸水被害や川の破堤等、発生している被害について具体的に言及する方が良いかと思えます。
【会長】	その部分は事務局に追加を検討頂ければと思います。他いかがでしょうか。
【委員】	4. 付帯意見の5行目の『30年以内に高い確率で発生するといわれている南海トラフ地震』という表現がまわりくどく感じるので、スムーズな書きぶりを検討いただけますでしょうか。
【会長】	他いかがでしょうか。
【委員】	4ページ⑤わかりやすい下水道情報の発信の部分で、下水道事業の経営の状況や経営改善が何故必要なのということについてイベント等で情報発信する点、追加した方がよいのではないかと思います。
【会長】	1段落目の『下水道施設の改築や雨水対策等の下水道事業に対する』だけではなく、持続可能な経営や経営改善に対する取り組みに関する文言を追加した方が良さそうです。 他いかがでしょうか。

【委員】	答申案も難しい内容ですので専門用語についてわかりやすい解説をつけていただければと思います。
【会長】	用語集を答申に付けるのは難しいかもしれませんが、用語集を併載してもいいのかもしれませんが。
【委員】	<p>市民の理解を得るための情報発信というのは非常に重要なことです。わからないから反対するのであって、理解を求めること、情報発信することが重要です。</p> <p>答申が出たあとは、答申の内容を水資源部が実行していかなければならないのでしょうか。</p>
【事務局】	ご認識のとおりです。
【会長】	<p>下水道事業に関わる方々は、これ以上コストを削ることは難しいといった経営努力を必死にしてきたということは、遠慮せずに主張すればよいと思います。</p> <p>では、答申案については、一旦、事務局で追記、修正していただいたものを確認した上で最終確定としたいと思いますが、このような形で進めるということによろしいでしょうか。</p>
【委員一同】	同意します。
【会長】	<p>それでは、本日予定されていた議題はすべて終了ということになりますので、最後に事務局の方からお願いいたします。</p> <p>○事務局から大阪狭山市下水道事業経営審議会第9回の開催時期について連絡</p> <p>○事務局より閉会の挨拶</p>